

2009

ASHIKAGA HOLDINGS DISCLOSURE

足利ホールディングス 中間期ミニディスクロージャー誌 2009年（21年9月期）



株式会社足利ホールディングス
代表執行役社長 藤沢 智

皆さまには、平素より弊社ならびに足利銀行をお引き立ていただき、誠にありがとうございます。
でございます。

当中間期の金融経済環境は、昨年度後半の世界経済の影響を受けた急激かつ大幅な悪化からは、持ち直しの動きが見受けられましたが、引き続き厳しい情勢が続いております。このような環境の中、足利銀行を中心とした弊社グループは、事業計画ならびに平成21年2月に公表した中期経営計画に基づき、栃木県を中心とする地域において金融仲介機能の継続的な発揮につとめてまいりました。具体的には、お取引先数や預金・貸出金等の残高拡大による収益力の強化、企業再生支援の着実かつ継続的な展開による与信コストの抑制と資産の健全化、基幹システムの更改や業務効率化等によるローコストオペレーション体制の構築に取り組んでおります。あわせて、お客さま保護の観点からコンプライアンスの更なる徹底やリスク管理態勢の強化、CSRにも取り組んでおります。

このような取組みの結果、当中間期におきましては、弊社連結中間純利益を139億円、足利銀行単体の中間純利益を179億円、それぞれ確保することができました。

しかしながら、景気は持ち直しの動きが見受けられるものの、依然として厳しい情勢が続いており、金融経済環境は、予断を許さない状況にあると考えております。引き続き、創業の精神である「地元密着の営業姿勢」を忘れず、お客さまとの接点を強めた業務運営に取り組んでまいります。

皆さまにおかれましては、引き続き変わらぬご支援とご愛顧をたまわりますようお願い申し上げます。

平成22年1月

プロフィール

足利ホールディングス

- 商号 株式会社足利ホールディングス
- 代表者 代表執行役社長 藤沢 智
- 設立年月日 平成20年4月1日
- 資本金 1,050億1,000万円
- 本社所在地 栃木県宇都宮市桜4丁目1番25号（足利銀行本店内）
- 事業内容 銀行、その他銀行法により子会社とすることができる会社の経営管理、およびそれに付帯する業務

足利銀行

- 商号 株式会社足利銀行
- 代表者 代表執行役頭取 藤沢 智
- 創業 明治28年10月1日
- 資本金 1,350億円
- 本店 栃木県宇都宮市桜4丁目1番25号
- 職員数 2,724名

（平成21年9月30日現在）



企業理念

“企業理念”は、当社グループのすべての行動の原点となる考え方を示したもので、「存在意義」「経営姿勢」「行動規準」から構成されています。

わたしたちは、この企業理念のもとで地域の総合金融機関として、地域社会とお客さまの信頼と期待にお応えできるようにつとめております。

●存在意義

「豊かさの創造に寄与する」

●経営姿勢

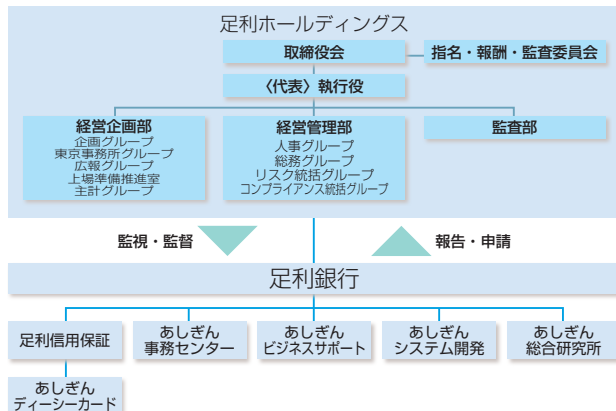
「地域と共に生きる」

●行動規準

「誇りと喜びをもって行動する」

経営体制

企画機能を統括する経営企画部門、管理機能を統括する経営管理部門、内部監査を統括する監査部門を設置し、足利銀行の関連部門と密接に連携しながら経営の適正な管理・モニタリングを行っております。



中期経営計画

新あしぎん創造プロジェクト 地域とともに新たな成長のステージへ

計画期間：平成21年4月～平成25年3月

足利ホールディングスおよび足利銀行は、中期経営計画で示した施策の着実な実行をとおして、お客さま、株主、地域社会、従業員等すべてのステークホルダーからの高い信頼を獲得しつづけ、持続的な企業価値の向上につとめてまいります。

【目指すべき銀行像】

- ◆お客さまに信頼され、頼りにされる銀行
- ◆持続的な地域経済の発展に貢献する銀行
- ◆強靱な経営体質をもった銀行

地域に密着した総合金融
サービス業の実現を目指す

【中期経営計画の基本的考え方】

栃木県において当行の
マザーマーケットとしての基盤構築

- ◆地域銀行として関わるあらゆる分野で磐石な基盤を構築
- ◆預金、貸出等のシェアを高め、安定した収益を確保

当行と縁のある外周部を重点地域として
貸出を主力に取引基盤を回復

- ◆顧客認知度（一定のシェア・店舗の歴史等）という強みを活かし、人員・店舗ネットワークを増強

足利ホールディングス（連結）

（単位：億円）

	20/9期実績	21/9期実績	20/9期比	22/3期計画	計画対比（進捗率）
連結粗利益	211	471	259	872	54.0%
営業経費（△）	137	293	156	—	—
貸倒償却引当費用（△）	41	84	42	124	67.7%
株式等関係損益	△ 0	42	42	—	—
経常利益	8	136	127	169	80.4%
中間（当期）純利益	10	139	129	165	84.2%

・連結粗利益は、足利銀行の業務粗利益を中心として、471億円（計画対比54.0%）となりました。

・営業経費が293億円、貸倒償却引当費用が84億円（同比67.7%）となったほか、株式等関係損益42億円を計上し、経常利益136億円（同比80.4%）、中間純利益139億円（同比84.2%）となりました。

※20/9期実績については、20年7月1日（足利ホールディングスによる足利銀行株式の取得日）以降の3か月分の足利銀行連結損益が反映されております。

足利銀行（単体）

（単位：億円）

	20/9期実績	21/9期実績	20/9期比	22/3期計画	計画対比（進捗率）
業務粗利益	424	460	36	860	53.4%
資金利益	354	372	18	744	50.0%
役務取引等利益	61	54	△ 6	107	50.4%
その他業務利益	9	33	24	8	412.5%
国債等債券損益	5	30	24	—	—
経費（△）	248	251	2	510	49.2%
うち人件費（△）	109	119	9	239	49.7%
うち物件費（△）	104	113	9	242	46.6%
実質業務純益	175	209	33	350	59.7%
コア業務純益	169	178	8	350	50.8%
一般貸倒引当金繰入額（△）（+）△26	39	65	1	3900.0%	
業務純益	201	169	△ 32	348	48.5%
臨時損益	△ 107	7	114	△ 100	—
うち不良債権処理額（△）	85	24	△ 61	100	24.0%
うち株式等損益	△ 0	36	36	—	—
経常利益	94	177	82	248	71.3%
特別損益	2,565	1	△ 2,564	—	—
中間（当期）純利益	2,659	179	△ 2,480	248	72.1%
（注）実質信用コスト＝一般貸倒引当金繰入額＋不良債権処理額＋売却債権精算損－償却債権取立益					
実質信用コスト（注）（△）	58	60	2	101	59.4%

《業務粗利益》

資金利益・役務取引等利益ともに年度計画対比50%以上の進捗となったほか、国債等債券損益30億円を計上したことから、業務粗利益は460億円（計画対比53.4%）となりました。

《経費・業務純益》

経費が251億円（同比49.2%）となり、実質業務純益は209億円（同比59.7%）、コア業務純益は178億円（同比50.8%）となりました。

《不良債権処理関係》

要管理先やDCFによる引当先の増加等により、一般貸倒引当金繰入額が39億円となり、不良債権処理額24億円等とあわせ、実質信用コストは60億円（同比59.4%）となりました。

《経常利益・中間純利益》

保有株式の一部売却により、株式等損益36億円を計上したことから、経常利益は177億円（同比71.3%）、中間純利益は179億円（同比72.1%）となりました。

ホールディングス連結と銀行単体の差額の内訳

（単位：億円）

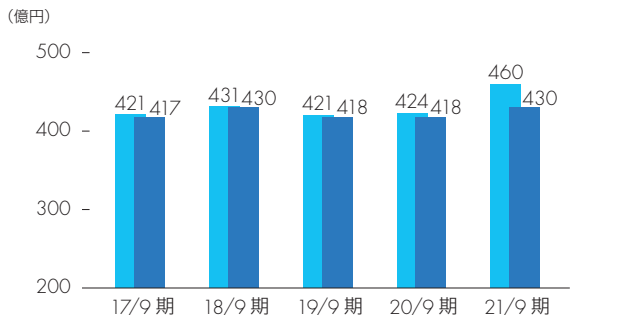
	21/9期	主要内容
中間純利益の差額	△ 39	⇒ホールディングス連結139億円－銀行単体179億円
ホールディングス劣後ローン支払利息	△ 17	⇒ホールディングス劣後ローン残高800億円
ホールディングスのれん償却	△ 31	⇒21/9期のれん1,162億円
その他ホールディングス連結調整等	12	⇒有価証券関係損益の調整（※）等
銀行子会社分の損益	△ 3	⇒銀行連結と銀行単体の中間純利益の差額

※足利銀行の保有する有価証券の取得原価が、ホールディングス連結と銀行単体で異なるため生じるものです。

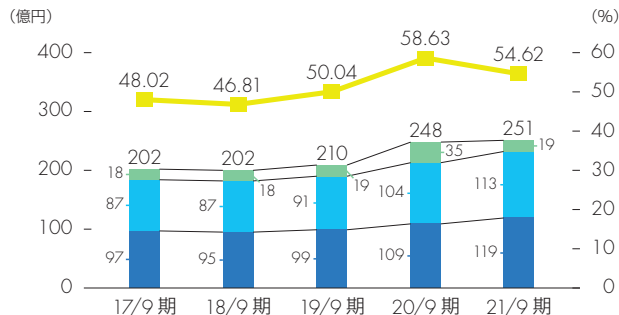


主な計数の推移 (足利銀行単体)

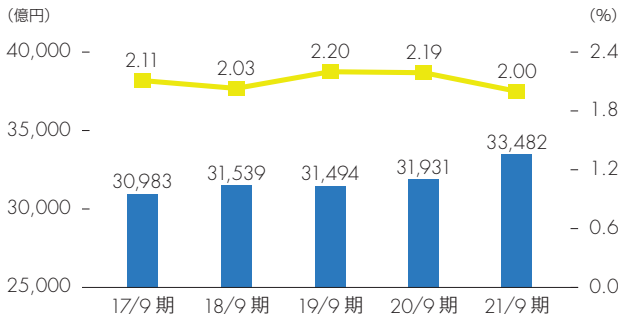
業務粗利益



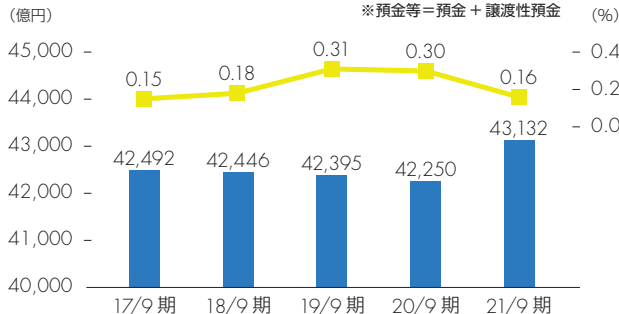
経費・OHR



貸出金平残・利回り

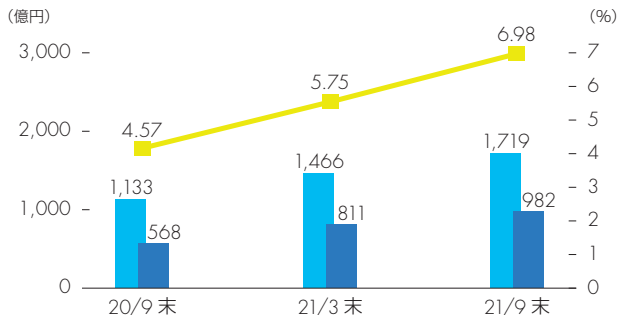


預金等平残・利回り

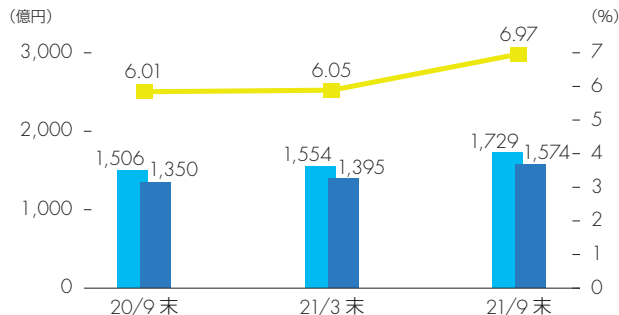


自己資本比率の推移

足利ホールディングス連結



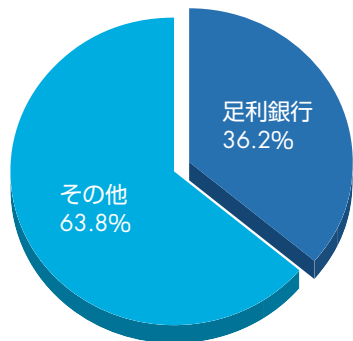
足利銀行単体



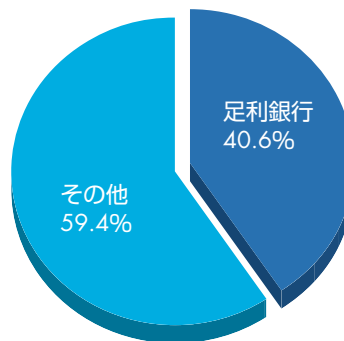


地域の皆さまとのお取引状況

■ 栃木県内シェア 預金 (21年3月)

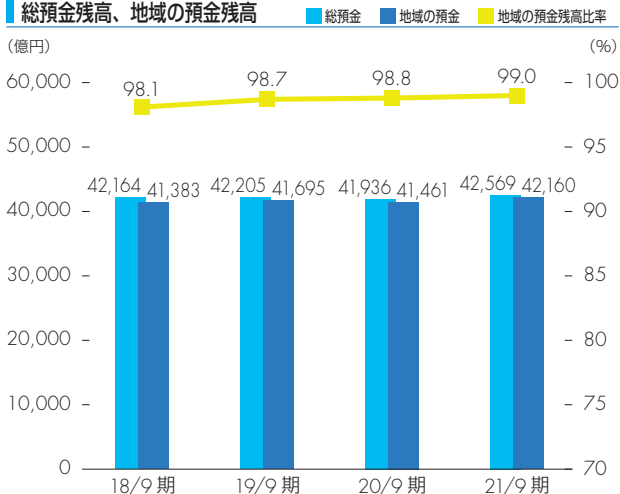


■ 栃木県内シェア 貸出金 (21年3月)



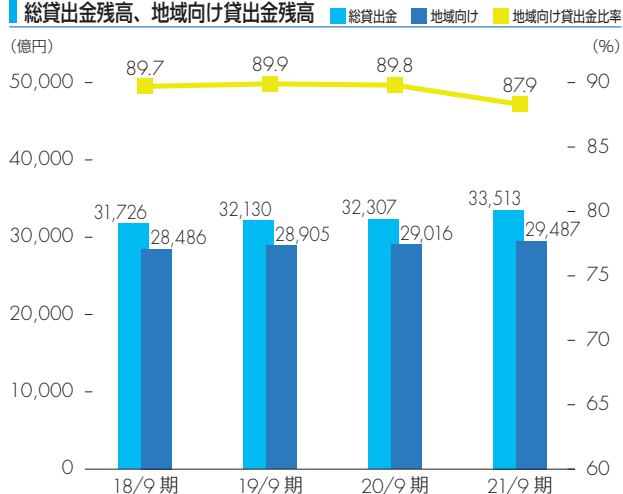
※本計数の対象金融機関は、国内銀行、信用金庫、信用組合、農協です。(当行調べ)

■ 総預金残高、地域の預金残高



総預金に占める地域の預金は、高い水準で推移しております。

■ 総貸出金残高、地域向け貸出金残高

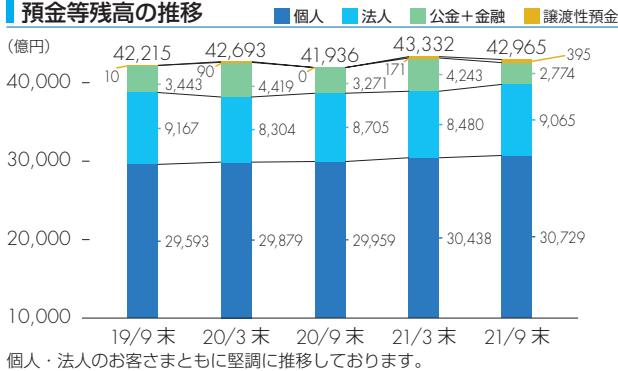


地域における円滑な資金供給にとつめており、地域向け貸出金は高い比率で推移しております。

※当行における「地域」とは、北関東を中心とした主要な営業地盤（栃木県、群馬県、茨城県、埼玉県）を指しております。

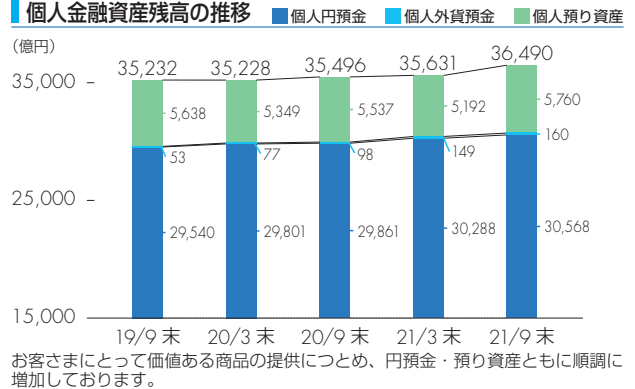


預金等残高の推移



個人・法人のお客さまともに堅調に推移しております。

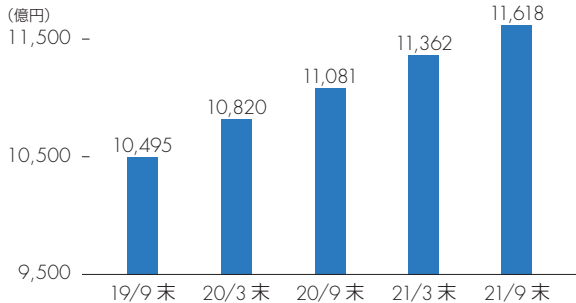
個人金融資産残高の推移



お客さまにとって価値ある商品の提供につとめ、円預金・預り資産ともに順調に増加しております。

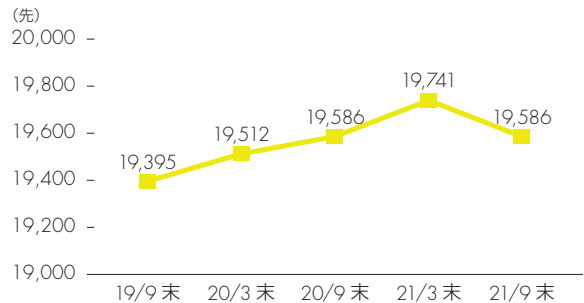
住宅ローン・法人融資先数の推移

<住宅ローン残高>



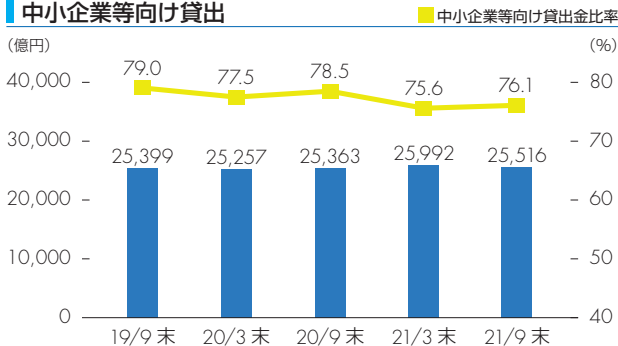
金利上乘せのない8つの疾病保障付住宅ローンの取扱いを中心として、残高は順調に増加しております。

<法人融資先数 (正常先～要管理先)>



的確な資金ニーズの対応につとめ、お取引先数の拡充を進めております。

中小企業等向け貸出



県市町村制度融資の活用や営業情報支援など、お客さまのニーズに沿った対応につとめております。

① ライフサイクルに応じた取引先企業の支援の一層の強化

ア. 創業・新事業支援

県市町村の制度融資の活用等により、創業・新事業支援に関する融資を、21年上期中に44件293百万円実行いたしました。

今後とも、「あしかが企業育成ファンド二号投資事業有限責任組合」（株式会社ジャフコとの提携により21年1月に組成）による出資機能を含め、営業エリアにおける有望なベンチャー企業の資金ニーズに対応してまいります。

イ. 経営改善支援・事業再生

経営改善支援・事業再生支援に関しては、外部機関の活用などにより、手続きの客観性・透明性・公平性を確保したうえで、個々の企業の状況に応じた支援を行っております。

21年上期における外部機関を活用した支援実績は、中小企業再生支援協議会が13先となりました。

ウ. 事業承継

21年上期は、後継者への自社株式移転等の事業承継に関する相談対応の件数が52件となったほか、後継者不在に悩むお取引先を中心に、M&Aに関して28件の相談に対応いたしました。

また、お取引先における後継者育成をサポートする研修セミナーとして、11回目となる「ニューリーダー養成道場」を、7月に開催いたしました。

今後とも、お取引先における個々の事業承継ニーズに対し、適切な支援を行ってまいります。

② 事業価値を見極める融資手法をはじめ中小企業に適した資金供給手法の徹底

21年上期は、当行がアレンジャーならびにエージェントを務めるシンジケートローンを1件（総額406億円）組成したほか、お取引先の発行する私募債を11件（16億円）引き受けました。また、不動産担保や個人保証に過度に依存しない融資への取組みとして、売掛債権担保融資を3件（50百万円）実行いたしました。そのほか、事業価値の見極めや融資審査における職員個々の能力向上に向け、行内外における研修やトレーニー制度を通じ、人材育成にもつとめております。

今後とも、不動産担保や個人保証に過度に依存することなく、お取引先の多様化する資金調達ニーズへの対応を進めてまいります。

③ 地域の情報集積を活用した持続可能な地域経済への貢献

ア. 地域における営業支援情報の提供

(ア) 情報営業の展開

行内イントラネットにおける営業情報の受発信を行うシステムを活用し、お取引先のさまざまなニーズに対して、情報営業を積極的に展開しております。なお、22年1月には、地元の食品製造・販売業者に対するビジネスマッチングの取組みとして、「食の展示・商談会」を栃木県との共同により初めて開催する予定です。

(イ) シンクタンクによる情報機能

21年4月に、足利銀行の100%出資子会社のシンクタンクとして、「株式会社あしぎん総合研究所」を設立いたしました。

同社では、地域経済の動向や景況調査等の情報提供について、ニュースレターによる公表等、継続的に取り組んでおります。また、外部講師を招いた実務セミナーを随時開催しております。

10月からは、同社において会員の募集を開始いたしました。今後、会員の方を対象として、経営や実務に関する情報提供やインターネットサービス等によるご支援のほか、企業経営に役立つ最新情報を継続的に提供し、地域経済の持続的発展に貢献してまいります。

イ. 官民・産学の連携に向けた活動

官民の連携活動に関しては、P F I 事業へのさまざまな支援に取り組んでおります。具体的には、「喜連川社会復帰促進センター等運営事業」「宇都宮市新斎場整備・運営事業」の2件のP F I 事業について、事業運営のモニタリングや地元協力企業を紹介する等の情報支援を継続して行ったほか、新たに2件のP F I 事業について、ファイナンス契約を締結いたしました（21年6月：「公務員宿舍稲毛海岸住宅（仮称）整備事業」、21年9月：「公務員宿舍朝霞住宅（仮称）整備事業」）。

産学連携に関しては、21年4月より、職員4名が宇都宮大学地域共生研究開発センターのコーディネータとして、取引先企業における技術開発などのニーズと同大学の研究（シーズ）をつなぐ情報交換や案件の紹介に取り組んでおります。

また、宇都宮大学の地域貢献ファンドにおける学生のボランティア活動紹介の仲介を継続して行い、地域貢献に資する人材の育成を支援しております。



● リテールセンター

リテールセンターは、リテール戦略の柱のひとつとして、16年7月より設置を始めた当行独自の店舗運営モデルです。地域の法人・個人すべてのリテール取引に重点（軸足）を置き、多様化する金融ニーズに積極的にお応えするとともに、お取引先数の増加等取引基盤の裾野拡大を目指した営業を展開しております（21年9月末現在41か店）。

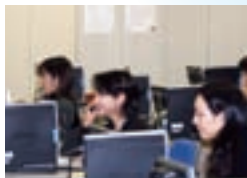
● コンビニATM

お客さまの利便性向上をはかるため、セブン銀行・イーネットATMと提携をしております。設置箇所は21年9月末現在でセブン銀行13,063か所（うち栃木県内349か所）・イーネットATM9,884か所（うち栃木県内167か所）となっております。

また、コンビニATMをより便利にご利用いただくため、21年2月からは、平日の日中時間帯（8時45分～18時）のコンビニATM利用手数料を無料化いたしました。

● あしぎんビジネスセンター

中小企業や個人事業主のお客さまに対して、ご融資をはじめとしたお取引に関するさまざまなご相談をお受けする窓口として、「あしぎんビジネスセンター」を営業しております。「あしぎんビジネスセンター」では各営業店と連携をはかりながら、お客さまのニーズに合わせたご案内をするとともに、当行窓口までご来店いただくなくても、電話やFAXによりお気軽にご相談いただく態勢を整えております。当行とお取引が無かったお客さまからもご好評をいただいております。



● スマイルデスク

お客さまの資産運用ニーズにお応えするため、金融商品販売店舗に相談ブースを設置し、専門のスタッフが資産づくりのアドバイスを行っております。お客さまを笑顔でお迎えし、資産運用等の幅広い相談に、親切・丁寧に応対するという思いからそのブースを『スマイルデスク』、専門スタッフを『CA（カスタマーアドバイザー）』の愛称で呼んでおります。



● ローンセンター

住宅ローンをはじめ、マイカーローン、教育ローンなど、お客さまの暮らしのお役に立つ商品を専門に取り扱っております。お客さまにいつでも安心して、気軽にご来店いただけますよう、専門のスタッフを配置しており、またローンセンターによっては、土曜・日曜の対応も可能としております。今後ともお客さまに“ゆっくりと”ご相談いただける態勢づくりにつとめてまいります（21年9月末現在22か店）。

● ダイレクトチャネル

インターネット等、通信環境の進展にともなう銀行取引手段の多様化にお応えするため、個人のお客さまにはパソコンや携帯電話でお取引内容の照会、お振込、定期預金・投資信託のお取引、税金・各種料金の払込み等を24時間ご利用いただける「インターネットバンキング・モバイルバンキング（ダイレクトブランチ）」サービスをお取り扱いしております。

また、法人・個人事業主のお客さまには、お取引内容の照会、お振込、納税、代金回収、外国為替取引などビジネスにご利用いただける「法人インターネットバンキング」サービスおよび「ファームバンキング」サービスをお取り扱いしております。

インターネットのお取引では、セキュリティ強化策を講じるとともに、適宜、サービスのレベルアップをはかっております。

そのほかにも、インターネット上で各種ローンに関するお問い合わせやご相談にお応えしたり、一部の商品についてはインターネットや郵便を使った「メールオーダー」でのお申込みをお受けするなど、ダイレクトチャネル取引の活用による利便性の向上につとめております。



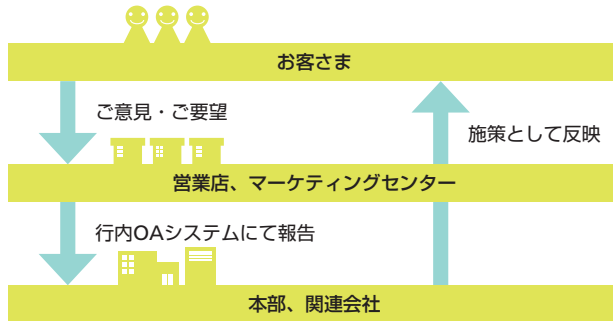


CS（お客さま満足）向上への取組み

「お客さまの声」を当行の施策に反映させるために

当行は、苦情を含め、お客さまからいただいたご意見・ご要望等の「お客さまの声」を何物にも代えがたい「改善のための宝」と考え、営業店窓口や「お客さまアンケート調査」等を通じて積極的にお伺いしております。いただいた「お客さまの声」をもとに、窓口での対応をはじめ商品、各種サービス等の向上につなげる活動を継続し、おかげさまで、さまざまな改善に結びつけることができました。今後もお客さまからいただいた貴重なご意見・ご要望をCS向上に活かし、「お客さまが選ぶ銀行」を目指してまいります。

① 「お客さまの声」の収集と反映の流れ



② 「お客さまの声」の収集状況

● 平成19年10月～平成20年3月	952件
● 平成20年4月～平成20年9月	1,027件
● 平成20年10月～平成21年3月	1,272件
● 平成21年4月～平成21年9月	1,569件

※お客さまから寄せられた苦情やお褒めの言葉も含まれます。


③ 『CS特別強化週間』の設定

当行は、一時国有化された11月29日を、「CS総点検の日」とし、創業の精神「地元密着の営業姿勢」とお客さまへの感謝の気持ちを改めて思い起こす日としております。平成21年は、11月30日～12月4日の一週を『CS特別強化週間』とし、お客さまとの接点を強めるための靴底運動を展開しました。

④ お客さまに役立つ情報を発信するために

「お客さまの声」を研究材料に「役立つ情報」を研究成果としてお届けするために当行ホームページ内に『バンク・ラボ』を展開しております。『バンク・ラボ』では、「お客さまアンケート調査結果」のご報告掲載やお客さまからいただいた質問・疑問点に「バンクラボムービー」でお応えしております。


⑤ 「お客さまの声」をもとにした取組み例



地域にやさしい
店づくりをしてほしい

当行では、来店されたお客さまや近隣住民の皆さまの緊急救命時に備えるため、AED（自動体外式除細動器）を12か店に設置しております。また、お客さまがご利用しやすいよう、耳マーク（表示板）・簡易筆談器・助聴器・コミュニケーション支援ボードを全店に設置しております。

また、店舗入口のスロープ化・段差の解消や手すりの設置、障がい者用駐車スペースの設置、音声ガイド付ATMの設置（本店営業部、県庁内支店、宇都宮市役所支店、塩原支店）など、お客さまにとってより便利でやさしい店づくりをしております。



住宅ローン固定金利満了時の案内をわかりやすくしてほしい

「お客さまの声」をもとに案内内容の見直しを行い、文字の大きさ、色の変更やお客さまに参考にさせていただくための金利推移情報を掲載するなどの改善を行いました。

<店頭モニタリング調査の実施>

当行では、営業店（ローンセンターを除く）を対象に外部機関による「店頭モニタリング調査（店頭覆面調査）」を実施しております。第三者の客観的な目線を通して営業店のお客さま対応状況を厳しくチェックし、着実に改善につなげております。



● 金融知識の普及

21年上期は、営業店において地元の小学生から大学生までの職場体験や校外体験学習の受入れを25件実施したほか、銀行業務に関心のある学生への就業体験の機会提供として、15名の大学生・短大生のインターンシップを受け入れております。

【キッズスクールの開催】

8月の夏休み中に、地域の子供たちにお金の大切さや銀行の役割を楽しんでいただくため、栃木県金融広報委員会と連携し、地域の小学生を対象とした「あしぎんキッズスクール「お金の体験学習」」を本店にて開催し、15組37名の親子に参加していただきました。



キッズスクール



植樹活動（足尾の山）

● 環境問題への取り組み

地球温暖化防止に向けた「チーム・マイナス6%」に参加登録しており、21年6月から9月までの間、温室効果ガスの排出量削減を目的に「クールビズ」を実施いたしました。

また、6月にはNPO法人「足尾に緑を育てる会」の協力のもと、新入行員124名が足尾の山に250本の苗木の植樹を行ったほか、「日本の森を守る地方銀行有志の会」に参加し、他の地方銀行との情報交換を積極的に行い、有効な森林保護活動ができるようつとめております。

● 地元地域社会への貢献

【宇都宮まちづくり貢献企業の認証】

21年11月、宇都宮まちづくり貢献企業認証委員会より、CSR活動に取り組み、宇都宮のまちづくりに貢献している企業として、「宇都宮まちづくり貢献企業」に認証されました。当行は、引き続き、企業理念である「地域と共に生きる」にもとづき、持続的な地域社会の発展に貢献してまいります。



ロゴマーク

【がん啓発セミナーの開催（がん検診受診率向上への取り組み）】

栃木県および東京海上日動火災保険とともに取り組んでいる「栃木県がん検診受診率向上プロジェクト」の一環として、21年11月に「がん啓発セミナー」を3者共催で開催し、約250名のお客さまにご来場いただきました。

また、〈あしぎん〉の店舗窓口では、ひとりでも多くのお客さまにがんが身近な問題であることと、早期発見・早期治療が重要であることをお伝えし、検診受診をおすすめしております。



がん啓発セミナー

● あしぎん総合研究所

当行100%出資子会社であるあしぎん総合研究所は、地域経済・業界動向の調査研究や企業の経営課題克服に向けたサポートなどを通して、栃木県を中心とする当行営業エリアにおける地域経済の発展に取り組んでおります。



経済月報

● あしぎん国際交流財団

当行が昭和60年に設立したあしぎん国際交流財団では、栃木県を中心とする地域に学ぶ海外からの私費留学生や地域の国際交流団体への助成を行っております。



財団役員と助成先

中間連結貸借対照表 (平成21年9月30日現在)

(単位：百万円)

科目	金額
資産の部	
現金預け金	89,469
コールローン及び買入手形	47,417
買入金銭債権	5,635
商品有価証券	5,943
金銭の信託	159
有価証券	1,230,714
貸出金	3,353,252
外国為替	5,344
その他資産	26,452
有形固定資産	25,665
無形固定資産	119,542
繰延税金資産	5,549
支払承諾見返	25,495
貸倒引当金	△ 73,479
資産の部合計	4,867,164
負債の部	
預金	4,202,058
譲渡性預金	39,541
コールマネー及び売渡手形	60,000
債券貸借取引受入担保金	15,380
借入金	235,680
外国為替	498
その他負債	49,985
役員賞与引当金	16
退職給付引当金	15,325
役員退職慰労引当金	102
睡眠預金払戻損失引当金	1,130
偶発損失引当金	118
ポイント引当金	48
繰延税金負債	—
支払承諾	25,495
負債の部合計	4,645,381
純資産の部	
資本金	105,010
資本剰余金	95,780
利益剰余金	13,709
株主資本合計	214,499
その他有価証券評価差額金	7,263
繰延ヘッジ損益	19
評価・換算差額等合計	7,283
純資産の部合計	221,782
負債及び純資産の部合計	4,867,164

資産の部

お客さまへのご融資である「貸出金」、債券や株式等の「有価証券」など、主に資金の運用状況を表します。

負債の部

お客さまからお預りしている「預金」、「譲渡性預金」、「借入金」など、主に資金の調達状況を表します。

純資産の部

株主の皆さまからのご出資金である「資本金」や今までの利益の蓄積である「利益剰余金」などの総額です。

中間連結損益計算書 (平成21年4月1日から平成21年9月30日まで)

(単位：百万円)

科目	金額
経常収益	59,640
資金運用収益	42,945
（うち貸出金利息）	(35,408)
（うち有価証券利息配当金）	(7,114)
役務取引等収益	8,669
その他業務収益	3,448
その他経常収益	4,577
経常費用	46,015
資金調達費用	5,393
（うち預金利息）	(3,437)
役務取引等費用	2,532
その他業務費用	22
営業経費	29,385
その他経常費用	8,682
経常利益	13,624
特別利益	311
固定資産処分益	—
償却債権取立益	307
その他の特別利益	4
特別損失	102
固定資産処分損	66
減損損失	35
税金等調整前中間純利益	13,834
法人税、住民税及び事業税	275
法人税等調整額	△ 439
法人税等合計	△ 164
中間純利益	13,998

経常収益、経常費用

「経常収益」は、貸出金利息や各種手数料等の収益で、「経常費用」は預金利息や営業経費等の費用を表します。

経常利益

経常収益から経常費用を差し引いた利益のことです。

中間純利益

経常利益から税金等を差し引いた最終的な利益のことです。

中間連結株主資本等変動計算書 (平成21年4月1日から平成21年9月30日まで)

(単位：百万円)

科目	金額
株主資本	
資本金	
前期末残高	105,010
当中間期変動額	—
新株の発行	—
当中間期変動額合計	—
当中間期末残高	105,010
資本剰余金	
前期末残高	104,990
当中間期変動額	—
新株の発行	—
剰余金の配当に伴う資本準備金の積立	290
欠損填補	△ 6,304
剰余金の配当	△ 3,195
当中間期変動額合計	△ 9,209
当中間期末残高	95,780
利益剰余金	
前期末残高	△ 6,593
当中間期変動額	—
欠損填補	6,304
中間純利益	13,998
当中間期変動額合計	20,303
当中間期末残高	13,709
株主資本合計	
前期末残高	203,406
当中間期変動額	—
新株の発行	—
剰余金の配当に伴う資本準備金の積立	290
欠損填補	—
剰余金の配当	△ 3,195
中間純利益	13,998
当中間期変動額合計	11,093
当中間期末残高	214,499
評価・換算差額等	
その他有価証券評価差額金	
前期末残高	△ 8,116
当中間期変動額	—
株主資本以外の項目の当中間期変動額 (純額)	15,380
当中間期変動額合計	15,380
当中間期末残高	7,263
繰延ヘッジ損益	
前期末残高	44
当中間期変動額	—
株主資本以外の項目の当中間期変動額 (純額)	△ 24
当中間期変動額合計	△ 24
当中間期末残高	19
評価・換算差額等合計	
前期末残高	△ 8,072
当中間期変動額	—
株主資本以外の項目の当中間期変動額 (純額)	15,355
当中間期変動額合計	15,355
当中間期末残高	7,283
純資産合計	
前期末残高	195,333
当中間期変動額	—
新株の発行	—
剰余金の配当に伴う資本準備金の積立	290
欠損填補	—
剰余金の配当	△ 3,195
中間純利益	13,998
株主資本以外の項目の当中間期変動額 (純額)	15,355
当中間期変動額合計	26,449
当中間期末残高	221,782

中間連結キャッシュ・フロー計算書 (平成21年4月1日から平成21年9月30日まで)

(単位：百万円)

科目	金額
営業活動によるキャッシュ・フロー	
税金等調整前中間純利益	13,834
減価償却費	1,231
減損損失	35
のれん償却額	3,101
貸倒引当金の増減 (△)	△ 27
役員賞与引当金の増減額 (△は減少)	3
退職給付引当金の増減額 (△は減少)	183
役員退職慰労引当金の増減額 (△は減少)	22
睡眠預金払戻損失引当金の増減 (△)	△ 24
偶発損失引当金の増減 (△)	25
ポイント引当金の増減額 (△は減少)	△ 0
資金運用収益	△ 42,945
資金調達費用	5,393
有価証券関係損益 (△)	△ 6,618
金銭の信託の運用損益 (△は運用益)	△ 0
為替差損益 (△は益)	7
固定資産処分損益 (△は益)	66
貸出金の純増 (△) 減	85,283
預金の純増減 (△)	△ 62,826
譲渡性預金の純増減 (△)	22,432
借入金 (劣後特約借入金を除く) の純増減 (△)	101,690
預け金 (日銀預け金を除く) の純増 (△) 減	506
コールローン等の純増 (△) 減	1,984
商品有価証券の純増 (△) 減	△ 1,102
コールマネー等の純増減 (△)	△ 30,000
債券貸借取引受入担保金の純増減 (△)	△ 117,051
外国為替 (資産) の純増 (△) 減	△ 1,043
外国為替 (負債) の純増減 (△)	17
資金運用による収入	41,336
資金調達による支出	△ 585
その他	4,078
小計	19,008
法人税等の支払額	△ 1,362
営業活動によるキャッシュ・フロー	17,646
投資活動によるキャッシュ・フロー	
有価証券の取得による支出	△ 375,858
有価証券の売却による収入	222,328
有価証券の償還による収入	114,142
金銭の信託の減少による収入	83
有形固定資産の取得による支出	△ 1,615
有形固定資産の売却による収入	130
無形固定資産の取得による支出	△ 979
保証金の返戻 (差入) による収入 (支出)	△ 46
連結範囲の変更を伴う子会社株式の取得による支出	—
投資活動によるキャッシュ・フロー	△ 41,816
財務活動によるキャッシュ・フロー	
劣後特約借入れによる収入	—
株式の発行による収入	—
配当金の支払額	△ 2,904
財務活動によるキャッシュ・フロー	△ 2,904
現金及び現金同等物に係る換算差額	
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	△ 7
現金及び現金同等物の期首残高	△ 27,083
現金及び現金同等物の期首残高	113,707
現金及び現金同等物の中間期末残高	86,624

連結財務諸表 (足利銀行)

中間連結貸借対照表 (平成21年9月30日現在)

(単位: 百万円)

科目	金額	科目	金額
資産の部		負債の部	
現金預け金	89,469	預金	4,210,198
コールローン及び買入手形	47,417	譲渡性預金	39,541
買入金銭債権	5,635	コールマネー及び売渡手形	60,000
商品有価証券	5,943	債券貸借取引受入担保金	15,380
金銭の信託	159	借入金	155,680
有価証券	1,230,714	外国為替	498
貸出金	3,353,252	その他負債	49,075
外国為替	5,344	役員賞与引当金	7
その他資産	24,441	退職給付引当金	15,325
有形固定資産	25,881	役員退職慰労引当金	79
無形固定資産	3,246	睡眠預金払戻損失引当金	1,130
繰延税金資産	6,602	偶発損失引当金	118
支払承諾見返	25,495	ポイント引当金	48
貸倒引当金	△ 73,479	繰延税金負債	—
		支払承諾	25,495
		負債の部合計	4,572,579
		純資産の部	
		資本金	135,000
		利益剰余金	23,800
		株主資本合計	158,800
		その他有価証券評価差額金	18,727
		繰延ヘッジ損益	19
		評価・換算差額等合計	18,746
		純資産の部合計	177,546
資産の部合計	4,750,126	負債及び純資産の部合計	4,750,126

中間連結損益計算書 (平成21年4月1日から平成21年9月30日まで)

(単位: 百万円)

科目	金額
経常収益	58,699
資金運用収益	42,641
(うち貸出金利息)	(35,408)
(うち有価証券利息配当金)	(6,809)
役員取引等収益	8,709
その他業務収益	3,434
その他経常収益	3,914
経常費用	41,307
資金調達費用	3,654
(うち預金利息)	(3,438)
役員取引等費用	2,532
その他業務費用	22
営業経費	26,445
その他経常費用	8,653
経常利益	17,392
特別利益	311
特別損失	71
税金等調整前中間純利益	17,632
法人税、住民税及び事業税	275
法人税等調整額	△ 227
法人税等合計	48
中間純利益	17,584

中間連結株主資本等変動計算書 (平成21年4月1日から平成21年9月30日まで)

(単位: 百万円)

科目	金額	科目	金額	科目	金額	科目	金額
株主資本		利益剰余金		評価・換算差額等		評価・換算差額等合計	
資本金		前期末残高	16,269	その他有価証券評価差額金		前期末残高	2,220
前期末残高	135,000	当中間期変動額		前期末残高	2,176	当中間期変動額	
当中間期変動額		剰余金の配当	△ 10,053	当中間期変動額		株主資本以外の項目の当中間期変動額(純額)	16,526
新株の発行	—	中間純利益	17,584	当中間期変動額		当中間期変動額合計	16,526
減資	—	減資	—	株主資本以外の項目の当中間期変動額(純額)	16,551	当中間期末残高	18,746
当中間期変動額合計	—	資本準備金による欠損填補	—	当中間期変動額合計	16,551	純資産合計	
当中間期末残高	135,000	当中間期変動額合計	7,530	当中間期末残高	18,727	前期末残高	153,489
資本剰余金		株主資本合計		繰延ヘッジ損益		当中間期変動額	
前期末残高	—	前期末残高	151,269	前期末残高	44	新株の発行	—
当中間期変動額		当中間期変動額		当中間期変動額		剰余金の配当	△ 10,053
新株の発行	—	新株の発行	—	当中間期変動額		中間純利益	17,584
資本準備金による欠損填補	—	剰余金の配当	△ 10,053	株主資本以外の項目の当中間期変動額(純額)	△ 24	株主資本以外の項目の当中間期変動額(純額)	16,526
当中間期変動額合計	—	中間純利益	17,584	当中間期変動額合計	△ 24	当中間期変動額合計	24,056
当中間期末残高	—	当中間期変動額合計	7,530	当中間期末残高	19	当中間期末残高	177,546



単体財務諸表 (足利銀行)

中間貸借対照表 (平成21年9月30日現在)

(単位: 百万円)

科目	金額	科目	金額
資産の部		負債の部	
現金預け金	89,467	預金	4,256,997
コールローン	47,417	譲渡性預金	39,541
買入金銭債権	5,635	コールマネー	60,000
商品有価証券	5,943	債券貸借取引受入担保金	15,380
金銭の信託	159	信用金	155,680
有価証券	1,259,670	外国為替	498
貸出金	3,351,315	その他負債	34,367
外国為替	5,344	未払法人税等	333
その他資産	21,820	リース債務	23
有形固定資産	26,769	その他の負債	34,010
無形固定資産	3,297	役員賞与引当金	7
繰延税金資産	6,132	退職給付引当金	14,530
支払承諾見返	25,495	役員退職慰労引当金	79
貸倒引当金	△ 68,493	睡眠預金払戻損失引当金	1,130
		偶発損失引当金	118
		ポイント引当金	0
		繰延税金負債	25,495
		支払承諾	—
		負債の部合計	4,603,827
		純資産の部	
		資本金	135,000
		利益剰余金	22,429
		利益準備金	2,010
		その他利益剰余金	20,418
		繰越利益剰余金	20,418
		株主資本合計	157,429
		その他有価証券評価差額金	18,700
		繰延ヘッジ損益	19
		評価・換算差額等合計	18,719
		純資産の部合計	176,148
資産の部合計	4,779,976	負債及び純資産の部合計	4,779,976

中間損益計算書 (平成21年4月1日から平成21年9月30日まで)

(単位: 百万円)

科目	金額
経常収益	56,165
資金運用収益	40,932
(うち貸出金利息)	(33,730)
(うち有価証券利息配当金)	(6,785)
役員取引等収益	7,972
その他業務収益	3,354
その他経常収益	3,906
経常費用	38,452
資金調達費用	3,657
(うち預金利息)	(3,448)
役員取引等費用	2,532
その他業務費用	—
営業経費	25,700
その他経常費用	6,562
経常利益	17,713
特別利益	298
特別損失	113
税引前中間純利益	17,897
法人税、住民税及び事業税	43
法人税等調整額	△ 67
法人税等合計	△ 24
中間純利益	17,922

中間株主資本等変動計算書 (平成21年4月1日から平成21年9月30日まで)

(単位: 百万円)

科目	金額	科目	金額	科目	金額	科目	金額
株主資本		利益剰余金		株主資本合計		評価・換算差額等合計	
資本金	135,000	利益準備金	—	前期末残高	149,561	前期末残高	2,226
前期末残高	135,000	前期末残高	—	当中間期変動額	—	当中間期変動額	—
当中間期変動額	—	当中間期変動額	—	新株の発行	—	株主資本以外の項目の当中間期変動額(純額)	16,493
新株の発行	—	剰余金の配当	2,010	剰余金の配当	△ 10,053	当中間期変動額合計	16,493
減資	—	当中間期変動額合計	2,010	中間純利益	17,922	当中間期変動額合計	16,493
当中間期変動額合計	—	当中間期末残高	2,010	減資	—	当中間期末残高	18,719
当中間期末残高	135,000	その他利益剰余金	—	資本準備金による欠損填補	—	純資産合計	
資本剰余金	—	繰越利益剰余金	—	資本準備金による欠損填補	—	前期末残高	151,787
資本準備金	—	前期末残高	14,561	当中間期変動額合計	7,868	当中間期変動額	—
前期末残高	—	当中間期変動額	—	当中間期末残高	157,429	新株の発行	—
当中間期変動額	—	剰余金の配当	△ 12,064	評価・換算差額等		剰余金の配当	△ 10,053
当中間期変動額合計	—	中間純利益	17,922	その他有価証券評価差額金	—	中間純利益	17,922
当中間期末残高	—	減資	—	株主資本以外の項目の当中間期変動額(純額)	—	減資	—
資本剰余金合計	—	資本準備金による欠損填補	—	資本準備金による欠損填補	—	資本準備金による欠損填補	—
前期末残高	—	当中間期変動額合計	5,857	当中間期変動額合計	7,868	株主資本以外の項目の当中間期変動額(純額)	16,493
当中間期変動額	—	当中間期末残高	20,418	株主資本合計		当中間期変動額合計	24,361
当中間期変動額合計	—	利益剰余金合計		前期末残高	2,181	当中間期末残高	176,148
当中間期末残高	—	前期末残高	14,561	当中間期変動額	—		
資本剰余金合計	—	当中間期変動額	—	株主資本以外の項目の当中間期変動額(純額)	—		
前期末残高	—	剰余金の配当	△ 10,053	株主資本以外の項目の当中間期変動額(純額)	△ 24		
当中間期変動額	—	中間純利益	17,922	当中間期変動額合計	△ 24		
当中間期変動額合計	—	減資	—	当中間期末残高	18,700		
当中間期末残高	—	資本準備金による欠損填補	—	繰延ヘッジ損益			
資本剰余金合計	—	資本準備金による欠損填補	—	前期末残高	44		
前期末残高	—	当中間期変動額合計	7,868	当中間期変動額	—		
当中間期変動額	—	当中間期末残高	22,429	株主資本以外の項目の当中間期変動額(純額)	△ 24		
当中間期変動額合計	—			当中間期変動額合計	△ 24		
当中間期末残高	—			当中間期末残高	19		

営業所のご案内 (足利銀行)

営業所の状況 (21年9月末現在)

	営業所数	店外ATM	ローンセンター
栃木県	107店 (うち出張所42)	195	15
群馬県	14店 ()	4	19
茨城県	8店 ()	2	3
埼玉県	16店 ()	1	2
東京都	1店 ()	-	-
福島県	1店 ()	-	1
合計	147店 ()	49	220
			22

※その他コンビニATM全国22,947か所 (平成21年9月末現在)

(出)……出張所
(リ)……リテールセンター
(ロ)……ローンセンター



発行/平成22年1月 足利ホールディングス経営企画部
〒320-8610 栃木県宇都宮市桜4-1-25 TEL028-622-8411 (代表)
<http://www.ashikaga-hd.co.jp>

みんなで止めよう温暖化
「あしぎん」チーム・マイナス6%

ミックス品
FSC 認定証及び管理された森林からの製品グループです
www.fsc.org Cert no. S-COC-001217
© 1996 Forest Stewardship Council